

「各務原市新庁舎建設基本計画（案）」の パブリックコメント（意見募集）の実施結果について

1. 実施結果の概要

耐震性に問題のある市役所本庁舎の新庁舎建設にあたり、建設場所、規模、導入機能、整備スケジュールなど新庁舎の整備方針となる「各務原市新庁舎建設基本計画」策定の参考とするため、「各務原市新庁舎建設基本計画（案）」についてパブリックコメント（意見募集）を実施しました。

その結果、109名の皆様からご意見を頂きました。頂いたご意見と市の考え方は下記のとおりです。

提出されたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約し、できる限り内容ごとに整理・分類した上で、市の考え方を示しています（順不同）。なお、意見を求める内容と直接関係のないご意見、趣旨が不明瞭なご意見などについても、意見内容を公表し、市の考え方を示しています。

（1）実施期間

平成28年4月4日（月曜日）～平成28年4月25日（月曜日）

（2）意見の提出状況

①提出者数：109名

②意見数：279件

2. 頂いたご意見と各務原市の考え方

【1. 新庁舎建設の必要性】

No.	頁	意見内容	市の考え方
1	1	<p>この度の熊本地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りしております。</p> <p>4月18日付の毎日新聞において、「防災拠点 耐震遅れ」「役所や病院使えず」との見出しで、損壊した宇土市役所の写真とともに、防災拠点となる公共施設が使用不可能になるケースが出ているという内容の記事を拝見しました。</p> <p>宇土市役所は2006年（平成18年）の耐震診断で震度6強に耐えられないと判定され、昨年、耐震改修計画を検討し始めた矢先、今回の地震発生に伴って損壊し、防災拠点として機能しない状況になってしまいました。市担当者は「財政上の問題で改修が遅れた」と釈明されているようです。</p> <p>また、「庁舎の遅れが問題」や「役人の施設は後回しにされがち」といったコメントがあり、庁舎耐震化に対する取組の難しさのようなものを感じ取ることができましたが、「役所や病院は災害時のとりで。いざという時に機能しなくな</p>	<p>本庁舎は昭和48年3月竣工で、昭和56年6月以前の旧耐震基準で設計された建物です。平成25年度に実施した耐震診断では、すべての階で現在の耐震基準を満たさず、「大規模地震発生時に倒壊又は崩壊の危険性が高い」という結果となっています。</p> <p>また、耐震性の問題に加え、設備の老朽化、狭あい化、バリアフリー等の課題を多く抱えています。</p> <p>南海トラフ巨大地震がいつ発生しても不思議ではない中で、市民サービス、防災の拠点となる本庁舎の耐震化は喫緊の重要課題であり、新庁舎の早期完成に向けて事業を推進してまいります。</p>

		<p>ることはあってはならない。(中略) 財政的な問題もあつただろうが、過去の教訓が十分に生かされたとは言えない」という名古屋大減災連携研究センター長のコメントに共感させられました。</p> <p>各務原市役所も平成 25 年の耐震診断で、耐震性が低く、「大規模地震発生時に倒壊又は崩壊の危険性が高い」と判定され、庁舎耐震化について整備手法やコストなど比較・検討を重ねられた結果、建替えの方針にされたと思います。</p> <p>南海トラフ巨大地震をはじめ、大規模地震がいつ発生してもおかしくないと言われていています。そうした非常時においては、市役所庁舎が十分に機能でき、応急対策や復旧・復興を進めていただくことが重要ですので、計画どおり事業を推進していただきたいと思います。</p>
2	1	<p>各務原市本庁舎には行く機会が大変多いですが、とても古く老朽化が進んでいるように感じられました。地震等の問題もありますので、早急な建設計画をして実行して行ってほしいです。何か災害等おきた場合や、その他に関して市役所は市の柱ですので、これからずっと先を見据えた新庁舎をお願いします。</p>
3	1	<p>建て替えには賛成です。</p> <p>改修も出来るという意見も耳にしますが新しくするのが無駄とは思えません。</p> <p>建て替えも改修も一長一短があると思うので、市制 50 周年ですし、新庁舎が良いと思います。</p>
4	1	<p>耐震診断の結果、倒壊の可能性が高いと診断されている以上、新庁舎建設に着手すべきと思います。</p>
5	1	<p>耐震性の問題があるとのことですが、震災にあつた時、防災拠点として機能するためにも新庁舎の建設は必要と考えます。</p>
6	1	<p>最近の地震の多さ、その被害の大きさから、防災拠点としての市役所庁舎の頑丈さが重要であると思います。各務原市の表玄関としての品格は必要でしょうが、過度のデザイン性は排除すべきと思います。災害があつた際、ここを拠点として市民が安心できる活動を素早く実施できるよう配慮ください。耐震性に問</p>

		<p>題があるということが判ったのであれば、早く対処すべきです。</p>	
7	1	<p>九州熊本地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。</p> <p>ニュースでも見て取れますが、市役所はその街のシンボルであり、いざという時の防災拠点であり、市民にとって心のよりどころだと思います。そうした意味において、中途半端な耐震工事よりも、建て替えることには大賛成です。</p>	
8	1	<p>建て替えした方がよいと思った。</p> <p>以前は耐震すればいいと思っていたけれど、熊本地震のニュースで、市役所庁舎が崩れているのを見て、考えが変わりました。</p>	
9	1	<p>1983年（昭和58年）より、各務原市に他県から就職のため移り住み、現在家族で各務原市に愛着を持って住んでいます。現本庁舎は、竣工後50年近くたち、耐震化のため、建て替えが必要なこと、理解できます。東北震災、熊本震災など、災害復興の中心機能的立場になる官公庁舎が壊れてしまっては話になりません。</p>	
10	1	<p>基本的には、新庁舎建設に賛成です。</p> <p>賛成の主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震の惨状を見るにつけ、かなり老朽化している現庁舎の耐震度は部分的な補修では、損壊の恐れがあり、災害対策本部の機能不能の事態に陥ることが危惧されます。 ・経済的体力のある現在から対応しておくことが望ましい。 ・人口減少化の傾向は、本市においても避けられない見通し。将来の市民に経済的負担が重くのしかかることが懸念されます。 	
11	1	<p>本庁舎の建て替えは絶対必要である。特に我々市民の安全・安心が保たれなければ日常生活が不安になる。特に現在の熊本地震の実情を報道等で見ている大規模災害発生時に一番機能しなければならない拠点がつぶれては市民生活が成り立たない。</p>	
12	1	<p>私は、原則的に新庁舎建設に反対です。</p> <p>財政に余裕があって実施されると思いますが、今後も少子高齢化が厳しくな</p>	<p>本庁舎は昭和48年3月竣工で、昭和56年6月以前の旧耐震基準で設計された建物です。平成25年度に実施した耐震診断では、すべての階で現在の耐震基</p>

		<p>って行きますし、人口減少も加速するでしょう。確かに庁舎も古くなりましたが、まだ中はしっかりしており、免震工事をしっかりしてリフォームすれば、まだまだ30年以上使えると思います。要は無駄な出費をするかしないかの問題だと思います。</p>	<p>準を満たしておらず、「大規模地震発生時に倒壊又は崩壊の危険性が高い」という結果となっています。また、耐震性の問題に加え、設備の老朽化、狭あい化、バリアフリー等の課題を多く抱えています。</p> <p>防災拠点である本庁舎の耐震化については、国土交通省が官庁施設の特性に応じて耐震安全性の目標を定めた「官庁施設の総合耐震・耐津波計画基準」に基づき、大地震後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られる最高水準の耐震性能が必要です。</p> <p>この基準を満たす耐震補強や免震補強を行う場合は、相当の費用、期間がかかると考えられます。また、本庁舎の供用限界期間は、コンクリートの劣化状況及び日本建築学会の建築工事標準仕様書（JASS5）に基づき65年と想定され、約20年後には改めて新庁舎建設の検討の必要があり、二重投資となる可能性があります。</p> <p>学識経験者や公募市民等にご参加いただいた本庁舎耐震化基本構想策定委員会の答申、市議会特別委員会の調査・研究、市議会における基本計画策定に向けての要望決議等を踏まえ、耐震化の整備方法、現庁舎が抱える課題や問題点の他、コスト面において将来世代に過大な負担を残さないことを考慮し、慎重に検討を行った結果、新庁舎建設が最適な方法であると本庁舎耐震化基本構想において決定したものです。新庁舎建設基本計画は、基本構想を受けて、耐震化の方針について建て替えを前提とした計画となっております。</p> <p>今後、いつ発生するかわからない大規模災害に備えるため、早期に新庁舎を完成できるよう、今後も新庁舎建設事業を推進してまいります。</p>
13	1	<p>「新庁舎建設への方針」は「現庁舎の耐震補強工事」へ変更（中断）して実施。その後「新庁舎建設」計画を慎重に検討すべきと考えます。</p> <p>（理由）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 熊本地震の現状は他市のこととは思えません。（特に建替え予定中の市町がバックアップを考えていなかったとの報に恐怖を感じて） 2. (a)27年6月「新庁舎建設かわら版」の回覧で(b)27年3月「本庁舎耐震化基本構想」が決定していたことを知り(c)28年3月「新庁舎建設基本計画(素案)」の答申(d)28年3月「新庁舎建設基本計画(案)」等々見せていただきましたが私には全て「建替えを前提としたもの」で理解できませんでした。 3. もし、上記意見が間違いであれば、浅野市長自ら公開の場で、前記2(b)項決定の経緯から説明して安心させてください。 	

【2. 新庁舎の建設場所】

No.	頁	意見内容	市の考え方
14	4	仮庁舎を建て、現在地に建てかえる	建設場所については、本庁舎耐震化基本構想において、鉄道駅から徒歩圏内にあり、周辺には消防本部、中央図書館、
15	4	場所も現庁舎の近くが最善だと思います。（公共公益施設が近くにあること等）	

16	4	建設場所については、案にあるとおり現庁舎敷地が妥当であると考えます。	航空自衛隊岐阜基地、岐阜保健所、各務原郵便局、商工会議所などの公共公益施設等の都市機能が集約され、市の中心的なエリアである「現庁舎周辺エリア」を選定しました。
17	4	新庁舎建設予定地もどの角度から見てもこれ以上最適な場所はない。	現庁舎周辺エリアの中から、市有地で、ある程度の広さを確保できる「現庁舎敷地」、「総合福祉会館敷地」、「市民公園駐車場敷地」、「学びの森敷地」の4つの候補地について現況や課題を整理しました。
18	4	建設場所は、やはり現在の場所が一番良いと思う。学びの森は絶対ダメ！基本計画案では周辺の道路整備にお金がかかることが書かれているが、市が誇れる「財産」を市が壊すことになる。	「総合福祉会館敷地」と「市民公園駐車場敷地」については、現在利用中の施設の廃止、敷地面積や周辺道路交通網が十分でないなどの課題があることを総合的に考慮し、「現庁舎敷地」と「学びの森敷地」の2箇所を絞りこみました。
19	4	今の場所での建替が一番だと思っています。	この2箇所について、新庁舎建設事業の緊急性、事業費の縮減、また防災面、市民の認知度、利便性、交通アクセスなどを総合的に考慮し、新庁舎の建設場所は、「現庁舎敷地」が最適であると考えています。
20	4	新庁舎は現敷地内での建替で良い。	仮設庁舎につきましては、設計会社からの提案、経費、市民サービスへの影響などを考慮し、必要性を検討してまいります。
21	4	位置は、案のとおり今の場所で良いと思います。東側の駐車場を利用する方法が一番良いと思いますが、西側のスーパーを活かしながらツイン庁舎も検討の余地があると思います。	なお、市東部地区につきましては、市民サービス・健康づくり・子育て支援の複合拠点施設として、(仮称) 鷺沼市民サービスセンター庁舎を、平成28年度末を目標に整備し、市民サービスの向上に努めます。
22	4	場所も問題であり、今の庁舎跡だけにこだわっていると無駄な金(10億近いのでは)が使われる。もちろん近くに候補地があればの話になります。なければ今の庁舎跡地が最適。	
23	4	アクセス性やこれまで整備された状況から現庁舎敷地に建設することが良いと考えます。他の候補案では何かと調整事項が増えてしまい、余計な時間がかかるでしょう。市役所機能の低下はできるだけ短期間にすべきです。	
24	4	新庁舎の場所は、利便性の良い「現庁舎敷地」がベストです。	
25	4	新庁舎の建設場所、規模等は利用する市民の利便性を考えれば、現案が良いかと思えます。	
26	4	現場所での建替えに賛成です。	
27	4	新庁舎建設基本計画に対し、異議を唱える部分はありませんが現庁舎敷地となれば、建設工事の間の市民サービスの低下(一時的な停止など)が心配されます。市役所機能の引っ越しも含めて、綿密な計画とシミュレーションが必要だと思えます。	
28	4	場所は、現庁舎と決まったようだが、市の中心から大きく西にずれていることを忘れないで欲しい。我々東に住む市民への配慮を忘れないこと。	
29	4	駐車場スペースが十分有る場所を希望します。ただし、それにより現在市民に親しまれている公園が無くなること	

		は悲しい。	
30	4	<p>学びの森を建設場所としていただきたい</p> <p>安全性：消防本部とは少し離れるだけ。 先々、消防本部も移転してはどうですか。</p> <p>機能性：学びの森の方が駐車スペースも多い</p> <p>経済性：仮設庁舎は必要なし。引越しの回数も1回「7億8千万円の節約」</p> <p>環境保全性：市民の工事中的影響もない</p>	
31	4	<p>1. 要旨</p> <p>3パターン（①現庁舎位置・②東側駐車場・③南側駐車場）の配置イメージ図で、①現庁舎位置・②東側駐車場では日照に問題があり、北側住民の生活環境に影響する事は明白だと考えます。</p> <p>本要求は生活する住民にとっては当たり前前の事です。</p> <p>従って、今後の基本計画書では、その事を明記して下さい。</p> <p>2. 明記内容</p> <p>2.1 図表2-3-1 各敷地の新庁舎建設に関する考察（①現庁舎敷地）社会性→法令適合性 [修正前（現状）] 用途地域の変更が必要なく現状のまままで建設が可能であるが、敷地北側住民の生活環境に影響を与えないよう配慮する必要がある。 [修正後] 用途地域の変更が必要なく現状のまままで建設が可能であるが、敷地北側住民の生活環境（日照や圧迫感など）に影響を与えないよう配慮する必要がある。 [理由] 生活環境だけでは不明確であり、具体的に明記しないと分かりません。</p> <p>2.2.1 参考資料 ①現庁舎位置の配置イメージ図 [修正後（追加）] * 周辺住民の生活環境（日照や圧迫感など）に影響を与えないよう配慮が必要 * 現在の現庁舎位置で、冬場の日照に問題がある世帯が実存する [理由] 1行目：現庁舎位置も東側駐車場と同</p>	<p>現庁舎敷地では、大まかに想定される3パターン（現庁舎位置・東側駐車場・南側駐車場）について比較し、配置イメージ図を示しておりますが、あくまでも想定であり、配置や庁舎の階数・形状などは決定したものではありません。</p> <p>新庁舎建設により、近隣住民の生活の支障とならないよう、「敷地北側住民の生活環境に影響を与えないよう配慮が必要である」と明記し、配置イメージ図も考慮させていただいたところです。</p> <p>設計においても、日照、圧迫感など近隣住民の生活環境に悪影響を与えないよう十分考慮し、その上で、敷地利用における様々な可能性の中で、市民に長く愛される新庁舎を目指してまいりたいと考えています。</p>

	<p>2行目：現実に冬場の日照問題がある世帯が実存します。</p> <p>2.2.2 参考資料 ②東側駐車場の配置イメージ図</p> <p>[修正前(現状)]</p> <p>*周辺住民の生活環境への配慮が必要</p> <p>[修正後]</p> <p>*周辺住民の生活環境(日照や圧迫感など)に影響を与えないよう配慮が必要</p> <p>[理由]</p> <p>“生活環境(日照や圧迫感など)に影響を与えないよう”は2.1と同じです。</p>
--	--

【3. 新庁舎の規模】

No.	頁	意見内容	市の考え方
32	12	経済性を考慮して、できる限り既存庁舎を活用することは良いのですが、大規模地震が発生した場合に既存庁舎が悪影響することがないように、既存庁舎の残し方、その活用方法については、十分にご検討いただきたい。	市庁舎全体としての規模は、総務省の旧地方債算定基準や他市事例などを参考とすると、延床面積 20,000 m ² 程度が必要と想定されます。 市には、本庁舎の他にも、北庁舎（産業文化センター内）、総合福祉会館（健康管理課）、水道庁舎といった、現在使用している、または活用可能な庁舎があります。これらの庁舎は、新耐震基準で建設または耐震補強されており、大規模地震発生時にも倒壊の危険性が低いと考えられている耐震性能が確保されているため、その活用により、新庁舎の規模や事業費を抑えることにつながります。
33	12	既存庁舎を活用するとありますが、耐震補強をして使用を続けるということでしょうか？	既存庁舎を有効活用し、できる限り新庁舎の規模や事業費を抑えた計画とするため、新庁舎の規模は、市庁舎全体として必要な面積 20,000 m ² 程度から、活用可能な既存庁舎の合計面積を差し引き、「14,000 m ² 程度」といたします。 なお、来庁者が各庁舎を行き来するなどの負担が生じないよう留意し、今後の設計において、新庁舎の具体的な部署配置や延床面積を決定いたします。
34	12	既存庁舎の活用のデメリットとして、「庁舎間の行き来が生じる」とあるが、今の時代、電話、FAX、PCメール等を活用して対応できるのではないか。	市民生活と関わりが深い最寄りの窓口として、市の出張所＝「市民サービスセンター」を市内6か所に設置しています。 本庁舎で行っている相談業務などを市民サービスセンターでも行うには、相
35	12	「産業文化センター」、「総合福祉会館」及び「中央図書館」は新庁舎建物内に含める。	
36	12	1ヶ所に集約した庁舎統合	
37	12	新庁舎の必要面積 14,000 m ² は広すぎる。 中軸のみのスペースに限定して、支所・出先の機能の充実をしてほしい。	

38	12	<p>建て替えに賛成ですが、支所の機能の拡充。市庁舎は市庁舎でしか行えないような仕事向けにする。</p>	<p>応の施設規模や職員配置が必要となり、困難であると考えております。</p> <p>市民サービスセンターの役割・機能は従来どおりとしますが、今後も市民サービス向上のため、エリア担当職員の配置により、各業務担当課と市民サービスセンター間の連携を密にし、きめ細やかな対応を図れるよう計画してまいります。</p>
----	----	--	--

【 4. 新庁舎の機能】

No.	頁	意見内容	市の考え方
①耐震性の確保			
39	21	<p>日本列島北から南まで震度 7 クラス以上の地震がここ最近多発しており、何か地球の異変さえ感じさせます。気にかかるのは、その間隔がだんだん短くなって来ていることで、南海トラフ大地震の前兆ではないかと言われている学者もおられる程です。</p> <p>さて、我が各務原市庁舎建替えについてもいろいろな意見があるようですが、一番大事なことは、大地震がこの地域に発生して災害が出たとしても、市庁舎が機能しなくならないよう強固な建物であるべきということです。直近の熊本地震において、庁舎に亀裂が入り、庁舎として使用できなくなった市もあります。市民の救助支援活動の機能を無くすことのないような市庁舎の建設を望みます。</p>	<p>市庁舎の使命は、大規模災害発生時でも日常と変わりなく機能し、必要な市民サービスを提供するとともに、市民の安全・安心を守る防災拠点であることです。</p> <p>各務原市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合は震度 6 弱、養老—桑名—四日市断層帯による地震が発生した場合は震度 6 強の揺れが想定されています。</p> <p>新庁舎の耐震性については、国土交通省が官庁施設の特性に応じて耐震安全性の目標を定めた「官庁施設の総合耐震・耐津波計画基準」に基づき、大地震後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られる最高水準の耐震性能を確保します。</p>
40	21	<p>先日の熊本での大震災においても宇土市で市役所庁舎が倒壊しかけ、職員が避難を余儀なくされたと報道されましたし、行政機関のマヒは非常時において大きな痛手になると考えられますので、より耐震性の優れた災害に強い庁舎にしていだければと思います。</p>	<p>また、これまでの震災において、免震構造の庁舎は、強い揺れにも何の影響もなく迅速に災害対応に当たることができたように、新庁舎建設においては、大地震発生時に大きな効果が期待できる免震構造の採用を検討します。</p>
41	21	<p>市役所本庁舎は、市民サービスの拠点であると共に市民の安全安心を守る防災拠点として大変重要な役割を担う建物なので、熊本地震のように本震のみならず、数多くの強い余震にも十分耐えるよう配慮していただきたい。</p>	
42	21	<p>九州の地震により、熊本県の 5 市町の庁舎が損壊し、罹災証明の発行などの行政サービスが機能不全との新聞報道がありました。</p> <p>市役所は、行政サービスを行う場所で</p>	

		<p>もありますし、災害時には対応の本部となり、わたしたち住民の精神的な支えとなる場所と考えます。</p> <p>機能やデザインなどこれからたくさんの方のことを検討されると思いますが、まず第一に、本震や頻繁に発生する余震に負けない盤石な庁舎の建設を望みます。</p>
43	21	<p>熊本の地震で市役所がつぶれたところがありました。南海トラフ巨大地震での被害が予想されている各務原市ではそんなことが起こらないように丈夫な庁舎にしてほしいです。特に今回の地震では震度7の地震が続けておきました。最初の地震では倒れなかったけれど、2回目の地震で倒れた建物がたくさんあったと聞きます。庁舎を防災拠点と考えるのなら今までの常識にとらわれることなく、震度7の地震が続いてきても大丈夫な強度にすべきだと思います。</p>
44	21	<p>耐震強化設備を特にお願いしたい。</p>
45	21	<p>熊本の役所は一番大切な時に使えない状態になってしまいました。</p> <p>各務原ではこんな事にならない様耐震設計の丈夫な建物が一日も早く建築される事を望んでいます。</p>
46	21	<p>建替に賛成です。</p> <p>どんな地震が来ても壊れない市役所であってほしいと願っています。</p>
47	21	<p>九州地方の大地震により、司令塔であるべき庁舎がいかに地震に耐えられるべきか国内すべての国民が身を以て考えさせられたことではないでしょうか？</p> <p>各務原も早く地震に強い庁舎の工事に着手すべきであると強く思います。</p>
48	21	<p>耐震性の高い建物に。</p>
49	21	<p>災害発生時に拠点になる本庁舎は耐震性に優れたもので新たに建設されるべきだと思う。</p>
50	21	<p>外壁には維持管理の優れた素材の使用による低コストも大切ですが、耐震に最も優れた素材の使用を優先し、外観デザインは控えめを希望します。</p>
51	21	<p>阪神淡路や東北の震災、先日来の九州の震災を見ても、市役所が頑丈でなければ、市民を助けることはできない。まずもって、市役所の建てかえには賛成する。しかし、建てかえの条件として、以</p>

		<p>下一言申し上げたい。機能と耐震(免震)に重点を置いて、他の経費は抑えること。外見やデザインにお金をかける必要はない。市民にとっても親しみのある、行きやすい、頑丈な市役所を建ててほしい。</p>
52	21	<p>外観のデザインはなるべくシンプルにして、耐震性を高めてほしい。</p>
53	21	<p>耐震補強工事は先を見ればムダな費用を使うだけである。この機会に長期的な視野に立ち想定を上回っても耐えられる強固なものを作るべきである。</p>
54	21	<p>今回の熊本地震で市役所の耐震性の重要性をあらためて考えさせられました。</p> <p>熊本では 5 つの市町で役所の耐震性が低かったので、役所が使えず、建物を分散するなどして災害への対応、福祉などの受付が困難との報道でした。</p> <p>このあたりでも、東海、東南海地震など大きな地震が来るといわれています。震度 7 クラスが何回も来るとやはり耐震補強では、元の建物が古いので倒壊してしまうのではないのでしょうか。心配です。</p> <p>せっかく税金をつぎ込んで改修するのであれば、市民の安全・安心も考慮して、今回の地震程度ではびくともしない建物をつくったほうがよいのではないのでしょうか。</p> <p>今回の熊本地震の教訓を活かし、耐震性のしっかりした、災害時の拠点となるような市役所を早期に建設していただきたいです。</p>
55	21	<p>庁舎の建て替えについて、今回の様に熊本の庁舎損壊で防災拠点となる市や町の庁舎が使えなくなるケースが相次いでいる。行政機能がほぼ機能不全となり、市民にも支障が出ている。</p> <p>そのため、免震構造の地震に備えた新庁舎の建設を行ってほしい。</p>
56	21	<p>熊本大震災では、庁舎の損壊が現実に見られているところ。</p> <p>本来防災拠点として機能すべき庁舎が損壊に至ることはあってはならない事。市民の安全を守る重要な拠点であることを考えると、現在の建築法令に照らし、免震構造の導入など、最大限に安全</p>

		<p>性を高めることを希望します。</p> <p>耐震補強では安全性に不安が残るため、建て替えの結論に至ったことは大変によかったと考えます。</p> <p>1日でも早く完成するようお願いしています。</p>	
57	21	<p>十分な耐震構造</p> <p>免震構造は必要ないと考えるが、検討する場合その構造と耐久性を十分吟味すべきである。将来大きなメンテナンス工事や費用が発生することを避けたい。</p>	
58	21	<p>第一に、熊本地震があったように、庁舎が壊れては絶対いけません。ぜひとも免震の新庁舎としてください。</p>	
59	21	<p>熊本地震では耐震補強してある庁舎が壊れて使えなくなりました。耐震補強は命を守るためには有効なものであるという認識を持ったが、市役所の最大の使命は、市民の安全、安心を守ること！壊れなくて良かったではなく、いつもと変わりなく機能していないといけない。岐阜県は、熊本のような活断層の地震が心配である。基本計画案では「免震構造を検討する」と書いてあるが、ぜひ免震構造の新庁舎を早く建設してほしい。</p>	
60	21	<p>免震構造は万能であるような説明がされているが、ピット（1層）が余分なうえ、免震ゴム等を設置するため高額になる。さらに、新たな地震被害を受け想定が変わるとまた対策を講じなければならず、万能ではない。また、コスト上、鉛直方向の振動に対しては数センチのクリアランスしか考慮しないと思われる。建物形状が複雑である程高額になる。免震構造でなくても低層で建物を軽く、柱、梁が一定で建物形状が方形なシンプルな構造が災害に強いことは過去の事例からも明らか。</p>	
61	21	<p>最近各地で未曾有の地震等災害が発生しています。災害対策の拠点として必要な市庁舎は、耐震構造が必要であり、免震構造になっていても良いと思います。</p>	
62	21	<p>災害時の避難場所として免震構造の整った新庁舎が必要であると考えます。</p>	
63	21	<p>市役所は市民の自治に重要な役割を</p>	

		果すため、市民の安全安心な免震構造（機能）を充実させ、防災拠点としてもらいたい。	
②災害対策本部機能の整備			
64	23	<p>今回の熊本地震で市役所が倒壊されたとの報道がありました。指揮を執る本部がこのような状況だと情報伝達が遅れて市民に不安を与えるばかりです。</p> <p>今後予想されます南海トラフ巨大地震は熊本地震以上の災害が予想されています。</p> <p>各務原市役所が同じ状況にならない様、耐震等を含めて建て替えをして、災害時の機能を発揮していただきたい！</p>	<p>災害発生時には、本庁舎に災害対策本部が速やかに設置され、被害状況の把握、重要な方針・対策の決定、市民等への情報提供など、市職員・関係機関が一丸となって、様々な対応に当たる必要があります。</p> <p>迅速な初動体制を確立するため、新庁舎には、常設の災害対策本部機能の整備を行います。</p> <p>また、災害対策本部を円滑に機能させるために必要な情報受発信設備などの資機材を整備し、消防本部との連携など災害対策活動に万全に備える計画とします。</p>
65	23	熊本市のように市役所が倒壊しては災害対策活動の司令塔の役割を果たすことができない。	
66	23	このたびの熊本の大地震で、本来対策本部となるべき行政庁舎の建物のもろさにごく然といたしました。耐震対策を含めて新庁舎はどんな災害にも対応できる機能を備えたものとするべきだと考えます。	
67	23	<p>熊本地震の経験を生かした新庁舎「安全で安心な市民生活を提供する庁舎」</p> <p>耐震性能を向上させるなど、震災をはじめとする災害に強い庁舎、防災対策本部や、災害時の業務継続に必要な機能の充実した庁舎</p>	
68	23	<p>災害時の指令センター</p> <p>大きな災害が日本全国で頻発しているが、万一発生時の指令センターとしての機能を有することが必須である。</p>	
69	23	防災管理センター機能を充実させてほしい。	
70	23	新庁舎の建て替えにあたり、第一に希望するのはやはり、防災拠点としての機能です。大災害時にきちんと指示発信の拠点として機能すること。地域の避難施設で受け入れられない被災者や帰宅困難者が、一時避難できるような（多目的の）スペースもあるといいです。	
71	23	日常の市民に対するサービスはもちろん、あらゆる災害に対し機能しうる庁舎を建てることを望んでおります。	
72	23	大きな災害がおきた時に安全で安心な拠点を作る。	
73	23	耐環境性の十分な組込	

		①地震②台風③豪雨④大雪	
③バックアップ機能の整備			
74	23	<p>大地震に対する備えは重要です。災害が発生した時に重要業務が中断しないように。また、万が一中断した場合でも目標時間内に重要な機能が復旧できるように BCP 対策と準備をお願いします。</p>	<p>新庁舎の建設は、防災拠点の整備であり、業務継続のハード面を成すものです。</p> <p>ソフト面では、本庁舎に災害対策本部が設置できなくなった場合、市地域防災計画で代替施設（第一順位は産業文化センター）を規定していますが、今後、地域防災計画の抜本的見直しとともに、新庁舎の基本設計完了後の平成 30 年 4 月をめどに BCP（業務継続計画）を策定できるよう検討してまいります。</p> <p>【BCP（業務継続計画）】 災害時に行政自らも被災し、人、物、情報等利用できる資源に制約がある状況下において、優先的に実施すべき業務（非常時優先業務）を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定める計画</p>
75	23	<p>震災などの非常時を考えた設計にしてほしい。 非常時の市民の受け入れや食料、電源の確保など。</p>	<p>ライフラインが途絶えた場合でも、通常の行政サービスや災害対策活動を実施できるよう、ライフラインのバックアップ機能として、3 日以上連続運転が可能な自家発電装置、電力供給の多重化、太陽光発電や雨水の活用などを検討してまいります。</p> <p>また、食料や飲料水などの備蓄、災害物資の保管が可能なスペースを確保する計画です。</p>
76	23	<p>防災対策においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民用シェルターの設置 ・十分な備蓄 ・自家発電装置を備える 等 <p>十分な確保を望む</p>	
77	23	<p>非常時の電源確保 環境負荷の低減と非常時の電源を確保するため、太陽光発電パネルを設置する。（消防署についても同様に検討すべき）</p>	
78	23	<p>地震のニュースを見て感じることは</p> <p>①地震に見舞われたときの水対策 各務原は水源が豊富であるので、地下プールに溜め込みいざという時に活用できるシステム作りが必要と感じます。</p> <p>②炊き出し、トイレ どこの自治体であったか忘れましたが、避難場所（公園など）に通常はベンチであるが、災難時はちょっとした工夫でベンチが炊き出しコンロに変身。また各公園の椅子はちょっとした工夫で便座に早変わり。もちろんプライバシーを</p>	

		考えたトイレ。(排水は下水へ直結) 今度の熊本地震で考えさせられる項目が一杯あると思われます。プロの方が突っ込んで調査し実行されることを望みます。	
79	23	非常時の電源確保は数時間がコスト的に限度。3日以上の自家発電のコストは考えているのか？無電源状態で機械に頼らない市民データの管理、セキュリティ機能の確保の検討が必要。	
80	23	ライフラインの自前化①水②電気③通信について、必要最小限は庁舎内で自前で賄えるように。(リサイクル設備等)	
81	23	大震災時ライフライン停止防止として、地下水利用できる井戸や簡易発電機能を備えるなど、防災機能の充実を図ってください。	
82	23	自主電源、水道を設ける。	
83	23	出来る限り、空間スペースを造り、万が一の場合、多くの市民の方の受け入れが可能ないようにして下さい。	庁舎は避難所に指定していませんが、災害時には来庁者、避難者、帰宅困難者などの一時受け入れが想定されることから、対応策を検討してまいります。
84	23	災害の発生時にロビーなどが避難施設に変更できる仕様になるといいですね。	
85	23	事務所機能だけでなく、災害時にも不自由なく使用でき避難場所としても機能するような施設としてほしい。	
86	23	有事には避難場所となることから、1階ロビーをできる限り広くし、避難に対応できる設備が必要と考えます。	
④窓口機能の整備			
87	24	現在の窓口フロアは暗いイメージがある。もっと明るく元気が出るような雰囲気が良い。	窓口は、本庁舎の中で市民の皆さんが一番良く利用するところです。 窓口は低層階(1~2階)に集約して配置するとともに、関連する手続きの担当窓口は隣接して配置するなど、市民の皆さんが利用しやすい窓口の整備を計画してまいります。
88	24	窓口フロアは、受付機の設置及び書類渡しの掲示板(電子)の活用を一考。	
89	24	市民がよく利用する窓口を1階ワンフロアに。	
90	24	各課の窓口を1階に集中させる	
91	24	各種窓口をわかりやすく配置して頂きたい。	
92	24	先日、父が亡くなった際、各種手続きをする必要がありましたが、複数の窓口へ行く必要があり、とても大変でした。これが一ヶ所の窓口で手続きが済むようにして頂けると非常に助かります。	
93	24	市役所に行くのは、あっちこっち行かされるので出張所の方へ行ってしまい	

		ます。出来ればひとつの窓口で用事がすませるとありがたいです。	
94	24	市民窓口は発行機（住民票等）の導入とワンストップサービス窓口を導入してほしい。	
95	24	証明書交付の手続きが不便なところもあり、利用しやすい施設になればと思います。	
96	24	カードでの書類の発行がドライブスルーでできる。	
97	24	受付の窓口は、窓口が纏まっており、窓口を渡り歩く必要がないようにし、受付前に十分なスペースを有する。	繁忙期にも対応できるよう十分な広さの待合スペースや、時期による臨時的な窓口の開設にも対応できる多目的なロビースペースを確保します。
98	24	待ち合いスペースが心地良いこと。緑があり、明るい、ロビーがギャラリーを兼ねるなど。	
99	24	多目的ロビーは、臨時的な窓口、会場の開設が出来るスペースの確保は必要	
⑤相談機能の整備			
100	24	相談スペースの問題に関して思い出されるのは、子供を保育所に入れるために相談に伺った時の事です。まだ預け先のない子供を連れての相談窓口としてはなかなかゆっくり話を聞けなかったことを思い出します。 まだまだ私の利用していないブースでの様々な意見があると思いますが、昭和48年に竣工したとの文字を見ると、もうそろそろ安全面を含めて見直して頂くのが今後のためにも良いと思います。	来庁者の個人情報やプライバシーの保護、相談のしやすさに配慮し、仕切りのある窓口カウンターや個室の相談室を設置する計画とします。
101	24	仕切りカウンターは是非採用してほしい。	
102	24	窓口での仕切りカウンター（隣の顔や声、プライバシーを守る）	
⑥駐車場・駐輪場の整備			
103	24	庁舎近くに十分な駐車場が必要。学びの森や公園駐車場から歩いていくなら、空中回廊などの工夫がほしい。 議員等への専用スペースも必要なく、平等に扱われないから市民の声が届かないと思える。	駐車場の確保は、現庁舎の課題の一つであり、新庁舎では、現状（140台）より多い台数（170台以上）を整備する計画としています。 駐車場の形態につきましては、新庁舎の配置等を考慮しながら、基本設計時に検討してまいります。
104	24	十分な駐車スペースの確保	
105	24	建替に賛成です。 車社会です。道路から入りやすい設計と十分な駐車スペースを確保していただきたい。	

106	24	現庁舎敷地に新庁舎建設となれば、駐車場の拡張をお願いします。現駐車場のスペースが少なく、満車時は入れない車がある。	
107	24	駐車場スペースを広くしてほしい。	
108	24	新庁舎の機能性については、便利で行きやすい感じがしますが、肝心の駐車スペースが少ないので、待たなくてもいつでも止められるよう拡大してほしいです。	
109	24	駐車場スペースを拡張して欲しい。	
110	24	地下に免震構造スペースを利用した駐車場を設置してはどうか。	
111	24	立体駐車場を併設する。	
112	24	駐車場半地下式で2階建て	
113	24	新庁舎へのアクセスが交通の面で危険性がない様をお願いします。	
⑦移動しやすい空間の整備			
⑧利用しやすい設備の整備			
114	25	1階には市民サービスを考え、市民が自由に使用出来る軽食・喫茶等を設置、2階以上には窓口機能等業務機能を設ける。1階から2階へは外階段とし、障がい者等も配慮するため、エレベーター、エスカレーターを設置する。	市民が多く利用する窓口部署の配置については、動線を考慮して関連部署を集約配置するなど、来庁者の利便性の向上を図ってまいります。
115	25	動線が少ない配置を希望します。(フロアの中央がロビー、その周りを囲むように窓口を配置)	
116	25	窓口や順路が分かりやすく、動線にムダがない。	
117	25	新庁舎の建設については、大災害時にも耐えられるような耐震性の確保は欠かせませんが、市民がよく利用する窓口などの利便性の向上やバリアフリー対策にしっかりと対応することが必要だと思います。	誰もが安全・安心に利用できるユニバーサルデザインの空間作りを計画します。 設計にあたっては、市民ワークショップや障がい者団体などの関係団体と意見交換を行い、市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、効果的な整備に努めてまいります。
118	25	バリアフリー	
119	25	通路は、車イス、ベビーカーがすれ違い可能なようにして下さい。	
120	25	お年寄りにやさしいバリアフリー化などよろしくをお願いします。	【ユニバーサルデザイン】 あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方
121	25	バリアフリー 入口スロープの設置、視覚障がい者用音声案内	
122	25	新庁舎の建設には賛成です。 現在の庁舎は、段差や通路の狭さなど、高齢者や障がい者が使いづらい部分があることから、新庁舎の建設では、特にユニバーサルデザインに配慮した庁	

		舎とするべきです。	
123	25	市民の利用のし易さ 高齢化社会を見据えたバリアフリーを基本として考え、子供連れの親が容易に来訪できるようにする。	
124	25	高齢者、障がいのある方、妊婦の方、小さなお子さんをお持ちの方にやさしい庁舎にしたいと思います。	
125	25	多様な国籍の市民へのやさしい対応	
126	25	来庁のしやすさ、利用のしやすさが最優先だと思います。	
127	25	会議室、通路などの照明には十分な明るさが欲しい。現庁舎はいたるところ暗すぎて明るい各務原市というにはイメージが悪すぎる。	
128	25	障がい者駐車スペースには、一般の車が駐車できないような対策をすることが必要と思います。	車いす利用者等専用駐車区画や思いやり駐車場を庁舎入口近くに確保します。 また、駐車区画の表示等により、適正な利用を促します。
129	25	駐車場において、建物前のロータリースペースや障がい者用駐車スペース等の整備もしていただきたいです。	
130	25	雨などを避けられるように駐車場から庁舎まで整備してもらいたいです。(車いす等で来られる方のため)	
131	25	トイレをもっときれいなものにして欲しい	ユニバーサルデザインの考え方から、各階に多目的トイレを設置し、市民利用の多い低層階にはオストメイト設備、ベビーベッドを設置するなど、様々な利用者のニーズに合わせて、機能、配置及び必要性に考慮した計画とします。 設計にあたっては、市民ワークショップや障がい者団体などの関係団体と意見交換を行い、市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、効果的な整備に努めてまいります。
132	25	耐震性能には十分予算を使ってもらえるのは構いませんが、市民サービスでの多目的トイレというのは普通のトイレではダメなのではないでしょうか。	
133	25	多目的トイレは、半田市の様な立派なものは不要。大手スーパー等の多目的トイレを参考にするのも一考。そんなに利用はないと思う。	
134	25	本庁舎の抱える主な課題を読ませて頂き、改めてその通りだなあと感じています。 特にトイレに関しては、古くて今時のトイレとしては段差もあつたのではないのでしょうか。	
135	25	多目的トイレが少ないのもっと増やしてほしい	
136	25	キッズエリアを完備し、小さな子供を持つ親が安心して用事を済ませるようにする。	キッズスペースや授乳室など乳幼児を同伴する来庁者に配慮した設備やスペースを設置する方針です。
137	25	小さな子ども連れの女性が来庁しやすい。キッズコーナー、授乳、おむつ替えスペースなど	

138	25	キッズスペースは不要。子供の遊ぶ場所は不要。個別の会議室を造り、打合せをすれば足りる。	
139	25	バリアフリーはもちろんのこと、キッズルーム、お手洗いの整備は、必要不可欠と思います。	
140	25	キッズスペース、トイレ（多目的）、通路幅の広さ（車イス対応も含め）	
⑨分かりやすい案内の整備			
141	25	窓口部門はワンフロア・オープンフロアにして、高齢者でも行きたい部署（窓口）がどこにあるのかが分かりやすい案内表示を設置することが望ましいと思います。	誰にとっても分かりやすい庁舎とするため、音声案内の活用、多言語や点字の併記、色・ピクトグラム等の活用など、分かりやすい案内を計画してまいります。
142	25	窓口フロアは、利用者にわかり易く。案内板などで迷わない様な工夫。	
143	25	各受付窓口をわかりやすく表示してください。	
144	25	半田市のようなわかりやすく明るい案内表示は良い。	
145	25	案内表示などわかりやすい	
146	25	総合案内・案内表示は、多目的ロビーを多角的に活用し、市民サービスをすべきと思う。	
147	25	わかりやすい総合案内の設置を望む	
148	25	「総合案内、案内表示（半田市）」のようなものがあれば、分かりやすく、良いと思います。	
149	25	どこに何が有るかわかりやすく表示をしてもらいたい。	
⑩利便・協働・交流機能の整備			
150	27	現在の市庁舎の計画は機能性に片寄った嫌いがあり、こうした機会は当面ないと思われるので、文化面を加味した庁舎を考えてほしい。その具体策として、多目的ロビーとは別に、市所蔵品を中心とした常設ギャラリーの設置を提案したい。市の過去の基本計画には、美術館の素案が検討された時期もあると記憶しているが、関市などでは庁舎内に美術館を設けている。現在市が所蔵している画家の作品だけでも膨大な量があり、又、美術館にも等しい施設ができれば、高レベルな作品を寄託ないしは寄贈したいと考えている市民もあります。 美術愛好会の活動など、市民の潜在的需要もあると考えますので、是非庁舎の一角に高レベルの展示室を設けること	窓口の待ち時間などに市民ギャラリーやイベント、市民の啓発活動などを見て過ごすことができるような多目的なロビースペースを計画します。

		を検討してほしい。	
151	27	市民が楽しく集える場所とする。全体のイメージ 美術館の中に市役所	
152	27	広報紙の裏面に紹介されている「市民ギャラリー」の実物展示コーナー	
153	27	第2に希望するのは、広く市民に開放されること。 1階部分は市民が多く出入りするスペースとしてバリアフリーのデザインにしたい。市民の交流やまちづくりの機能・情報提供の機能を整備していただきたいです。	
154	27	市民が参加できるイベント、サークル活動等がわかりやすく掲示、紹介されているブースがあればより参加しやすくなると思います。(新しく移り住んできた者にとって、既存のコミュニティーに入ることは敷居が高いため)	
155	27	現在の庁舎は市民がくつろげるスペースがあまりなく、やや敷居の高い場所に感じますので、気軽に立ち寄れるカフェなども入れて頂けると私個人としては嬉しいです。	食堂・コンビニ等の便利施設につきましては、需要や採算性に見合った機能や規模とすることに留意し、必要に応じて計画してまいります。
156	27	1階の片隅にスタバがあり、テラスにはカフェテリアがある。コンビニがある。	
157	27	新庁舎に建て替える機会があれば、環境配慮、効率的な執務環境は当然であり、市民に親しみを持たせることに重点をおいていただけないでしょうか。 望むものとして、やはり食。本格的なレストランを入れて大事なお客様等とも自信を持って場所を提供できることや、普段から市民は市民価格でレストランを格安で利用でき、遠方からの親戚や友人を市役所へ食事をメインに呼び込み、その場で各務原の紹介をし、他県に各務原の良さをアピールできるきっかけになると思います。	
158	27	一般市民も利用できるオープンな食堂などがあると、より身近に感じる事ができるのではないかと。	
159	27	食堂をもっと一般の人が使えるように開放的にして欲しい。時間制限なく、喫茶店みたいな感じ。	
160	27	1階には市民サービスを考え、市民が自由に使用出来る機能を備え、軽食・喫茶等の設置を考えてはどうか。	

161	27	歴史の学習者や中山道歩きの人達が休憩できるようなスペースとして喫茶コーナーを設ける。	
162	27	レストランや喫茶コーナーを新庁舎に設置する考えがあるか分かりませんが、必要性は感じません。喫茶店や食事をする所なら市内にたくさんあります。市役所がそのような憩い(?)を市民、来庁者に提供する役割は特別ないと思います。	
163	27	市役所内にコンビニはあった方が良いでしょう。	
164	27	コンビニ(コーナー)設置は、基本的に民間がするものであり、公共施設には必要はないものと思う。	
165	27	「ワンストップ行政サービス」の観点から、新庁舎に郵便局機能なるものを設置していただければ、市民の利便性の向上になると考えます。	
166	27	機能面については、健常者も障がい者の方も使いやすいようにすることは当然だと思いますが、行ってみたい、行きやすい市役所にすることも大切だと思います。そこで、最上階は誰でも行ける展望フロアを設けてはどうでしょうか。各務原市の特徴である自衛隊の基地が目に見えることで、各務原市のシンボルにもなり、市外からも多くの人を訪れる場所になるものと思います。市のPRにも効果が期待できます。	
167	27	屋上に展望スペースを設置してはどうでしょうか。	
168	27	大半の市民は諸手続きのための利用で遊びに来ているわけでない。土日も閉鎖されている。市民に利用しやすい機能は必要であるが、親しまれる機能は誰が利用するのか?施設の目的は自治体機能の提供継続のためであって、他の施設でできることをお金をかけてこの施設でやるべきでない。	
⑪情報発信機能の整備			
169	27	フロアに各務原市をイメージする設備を入れたらどうでしょうか。(淡水魚・航空機・にんじん・キムチ等)	市政に関する資料やパンフレットなどを集約して配置する市政情報コーナーや、各務原市への関心を深めてもらえ

170	27	市民としては寂しいが、現実として、各務原には岐阜、大垣のように人を呼べる特徴がありません。炉畑遺跡、鵜沼宿も素晴らしいですが、全国的に見ても盛んな航空宇宙産業や、市の中心部にある航空自衛隊岐阜基地を“観光資源”にとらえ、新庁舎に展望スペースや紹介コーナーを設置してほしいと思います。子供達の夢にもつながるのではないのでしょうか。	る機会を提供するため、各務原らしさに触れることができる、本市の歴史や文化、自然を紹介するコーナーを計画してまいります。	
171	27	航空機産業の街、市の特産物などをアピールできるような設備や場所なども考慮して頂ければ幸いです。 新庁舎の完成を楽しみにしております。		
172	27	市政ポスター等を作成し、“わかりやすい市政”を宣伝すべき。		
173	27	庁舎の一角に「ふるさとギャラリー」を常設展示（月ごと等で入れ替え）（※福井県敦賀市役所ロビーが好例か） 現庁舎で言えばモザイク画「潮音」（いい作品ですが）辺りにあると理想的。 ・歴史的遺品（埋蔵文化財センターに収蔵の一品など） ・郷土ゆかりの画家・書家等の作品（季節も配慮）		
174	27	小学生が社会見学で訪れて、勉強になるようなコーナー（市の歴史や市民生活、産業などを展示する）があると良い。		
175	27	歴史を大切にしない企業、団体は成長が危ういので、当市が歴史を大切にしていることを内外にアピールする。		
176	27	古代からの市の歴史が学習できるフロアを設け、市への来訪者や、中山道歩きの人達が立ち寄って楽しめる場所を作る。		
177	27	市内で発掘された土器等の文化財を何時でも誰でも気軽に見学できるようにする。		
⑫議会施設の整備				
178	27	議場の傍聴席だけでなく、1階のスペースにて中継して頂き、多くの市民に触れる場所を増やしてほしい。		議会施設の整備につきましては、市民の接しやすさや親しみやすさを考慮しながら、市議会のご意見をお聞きし、計画してまいります。
179	27	議場の壁の一部をガラス張りにして議会を市民に身近に感じてもらってもいいのでは？		

180	27	市民利用を考えるのであれば、議会および議員控室等も空き時間を会議室等にできるようにすれば良い。市民利用、緊急時にも有効活用できる。立派にする場所は議会でなく、市民が利用する場所のはず。	
⑬省エネルギーへの対応			
181	28	<p>節電されていたのか、エレベーターを降りたら真っ暗なロビーだったことがあります。</p> <p>1階に比べると2階や3階は市民が行くことが少ないかもしれませんが、来庁される方はいないわけじゃないでしょうし、3階は市長さんのお客さんもいらっしゃると思います。</p> <p>省エネの取り組みには賛成ですが、LEDや自然光を取り入れるなど新しい庁舎では明るい節電をお願いします。</p>	<p>新庁舎においては、環境負荷低減やランニングコストの低減に配慮し、積極的に自然エネルギーや省エネルギー技術の採用を図りますが、効果や費用を比較しながら、導入する機能や設備を検討してまいります。</p>
182	28	<p>照明について</p> <p>本庁階段とか、産文8階会議室とか、とにかく暗い。特に階段は非常に陰気。産文8階会議室は書類が見にくい。省エネと言うが、市民の気を明るくするという配慮が決定的に不足しているし、作業効率という点からも問題がある。</p> <p>新庁舎は、これらの点を反省して、明るく楽しい気分になる照明にして欲しい。東京スカイツリーのような話題性もあるとよい。</p>	
183	28	「環境にやさしい」とあるが、エコや自然エネルギー等にこだわり過ぎて必要以上に奇抜なものにしないこと。	
184	28	窓を多く用いて庁舎内に自然光が多く取り込んでほしい	
185	28	人と自然にやさしい、そんな新庁舎ができることを期待しています。	
186	28	自然エネルギーを取り入れることは良いと思う。	
187	28	環境に優しい建物にするべき。(例)太陽光パネル、屋上緑化、リサイクル建材の使用	
188	28	太陽光パネルを多く用いて自然エネルギー技術の活用	
189	28	屋上緑化し建物の省エネルギー、消音等景観と環境配慮型を提案します。	
190	28	ベランダは不要。二重窓にする等、騒音、遮熱を図り省エネ	

191	28	経済性を考えるのであれば太陽光発電、雨水利用、屋上緑化等余分な機能はいらない。荷重等による構造負荷部分、フィルター、ポンプ等付帯設備部分を含めたイニシャルコスト、ランニングコストを検討が必要。検討結果はこれを踏まえて公表すべき。	
⑭ライフサイクルコスト低減への対応			
192	29	2023年から50年間使用を見通した機能設計、施工していただければありがたいです。	長く市民に愛され、ニーズに応え続けられる庁舎とするとともに、効率的な維持管理や将来の設備更新に対応しやすい計画とします。
193	29	内装等は華美なものにならないよう実用面を考え、ムリ・ムダのない効率のよい庁舎を望みます。	
⑮執務空間の整備			
194	30	現在の市役所の執務室には、書棚にたくさんの書類が保管されています。建物の耐震化も重要ですが、これら書棚についても、保管場所を別にするか、極力廃棄するか、または、ストッパーなどの対応を考えないと、いざという時に、執務室がメチャクチャで十分な機能が果たせないと考えます。	執務室は、各部署間に間仕切りを設けずオープンな空間とし、適切な文書管理によりキャビネットの高さを抑えた見通しの利く計画とします。 また、通路と執務室の仕切りはカウンターとし、オープンで明るい空間となるよう配慮します。
195	30	基本計画（案）に示されたような（質の良い）市民サービスを提供すること、執務空間を明るくオープンにする（市民からも見えるように！）など、検討と実行をしっかりとお願い致します。	
196	30	新庁舎の機能として、防災、市民サービス等が挙げられていますが、何よりここで働く方々が仕事をしやすい庁舎とされることを望みます。	
197	30	執務室は明るい環境が望ましい。	
198	30	市民の出入りする窓口スペースと執務スペースは分けていただくなど。	
199	30	防音構造を完備し、会議や講習会を騒音で中断することがないようにする。	
⑯会議室等の整備			
200	30	ミーティングスペースはオープンなスペースではなく、間仕切りし、隣室の音が漏洩しない部屋とすべき。	簡単な打ち合わせはミーティングスペース、プライバシーの保護に配慮が必要な相談などは相談室を利用するなど、利用目的に応じて計画してまいります。
⑰セキュリティ機能の整備			
201	31	情報セキュリティが問題になる中で、窓口では周囲から見られない改善、マイナンバー等の情報には、最大限の情報保護・漏洩防止のための構造、設備が必要と思います。	個人情報の徹底した管理が可能なセキュリティ機能を整備します。

202	31	独自サーバーでセキュリティの強化を望む
-----	----	---------------------

【5. 事業手法等】

No.	頁	意見内容	市の考え方
203	33	事業手法として従来方式、また、設計者の選定についてプロポーザル方式を選定する等、市や市民の意見を反映させることに配慮されたものとなっており、この点は評価できます。 一方、この方法では、事業費がどんどん膨らんでいくことも危惧されますので、財政面においても適切な管理ができる体制をとっていただけるよう要望します。	設計者の選定の方法は、市の方針に基づき提出される技術提案などを評価し、最適な設計者を選定する「プロポーザル方式」により実施したいと考えております。 選定及び事業の推進にあたっては、公平性の確保や市民への情報提供に努めてまいります。
204	33	設計者の選定にあたってはコンペでないこと強く明記し、見栄えの良いプレゼンテーションで判断しない。市の方針を明確に提示し方針に沿って設計する者を選ぶべき。	
205	33	設計者選定にあたってはできる限り公正を期すため、同じ業界人である設計者と選定者の接触を厳しく規制すべき。	
206	33	従来方式で発注施工とあるが、誰が設計・施工監理を行うのか？既設の施設の状態から必ずしも良好な監理が行われたとは思えない。	
207	33	主要デザインを安藤忠雄氏（当市で講演会あり）に依頼する。	
208	33	市内には金属団地や木材団地等に鉄骨、突板業者等存在する。市内業者の製品等を購入することは市税に還元されるので考慮すべきと思う。	建設工事の発注の際の参考とさせていただきます。
209	33	免震装置や例えば CFT 構造等の施工にあたっては経験、資格のある施工者が必要で市内業者にいるのか？発注にあたっては大手ゼネコン+地元 JV 等条件を良く検討すべき。	

【6. 整備スケジュール】

No.	頁	意見内容	市の考え方
210	36	長期にわたる整備計画です。移行期間含め、市民サービスが低下しない様、また安全性に配慮した進め方をお願いします。	本市では、南海トラフ巨大地震や活断層の地震による強い揺れが想定されています。 これらの地震は、いつ発生してもおかしくないことから、防災拠点となる新庁舎の早期完成を目指し、スピード感を持って事業を進めてまいります。
211	36	いつ地震が発生するかわからないので、できるだけ早く完成するような手法等を検討してほしい。	

212	36	熊本地震の被災地宇土市等では庁舎が損壊し、役場業務が一部停止しました。リスクがあったにもかかわらず新庁舎建築が先送りされていたようです。本市におきましてもリスクを抱えておりますので慎重にスケジュールを急ぐ必要があると考えます。	
213	36	なぜ、この建設費が高騰する時期に建設するのか？近隣市町村や大型事業が他にあるなかで建設従事者が不足しており、計画通り進められるのか。良質な施設を求めるのであれば賢明でない。	今後の建設費の高騰について、その動向を把握することは困難ですが、コスト管理には十分注意しながら、いつ発生してもおかしくないといわれる南海トラフ巨大地震などを踏まえて、防災拠点となる新庁舎の早期完成を目指し、スピード感を持って事業を進めてまいります。

【 7. 財政計画】

No.	頁	意見内容	市の考え方
214	37	新庁舎建設の意図に関しては理解できますので、それについては賛成です。ただ、そのことによって、市の財源、国の補助（？）の範囲内で建てられればいいですが、市民税が上がる等、市民に負担がかかるようなことにはならないでほしいです。	新庁舎建設事業の財源は、新庁舎建設のために積み立てをしている「庁舎等整備基金」を活用する計画で、市民税が上がるなど市民の方に余分な負担が掛かる事はございません。また、できる限り一般財源を抑えるため、航空自衛隊岐阜基地に関連した国（防衛省）の補助金を要望いたします。
215	37	財政計画捻出案でも、せつかく基地と共存する都市なので、防衛省の補助金を強く（うまく）要望し、市民税等の一般財源抑制も努めてください。	
216	37	工事費については、費用に見合った建設がされることをしっかり確認していただきたいと思います。今後、長期にわたり市の中心を担う庁舎ですので。	基本計画の検討時点で想定される概算事業費を試算しました。今後、仮設庁舎を必要としない手法、設計者からの提案などにより変動が生じることがありますが、コスト管理には十分注意しながら、計画を進めてまいります。
217	37	仮設庁舎のために費用（税金！）をかけないでほしい。この先 50 年、60 年使う庁舎建設の中の数億円ならよいという考え方もできるかもしれないが、それはダメ！今あるところは狭いかもしれないが、良い知恵が必ず出てくると期待している。	

【 8. 事業にあたっての留意事項】

No.	頁	意見内容	市の考え方
218	40	地震が多発しています。早急に実施してください。	本市では、南海トラフ巨大地震や活断層の地震による強い揺れが想定されています。
219	40	熊本地震のニュースを見て、庁舎の建てかえを 1 日も早く実施してほしいと思いました。	これらの地震は、いつ発生してもおかしくないことから、防災拠点となる新庁

220	40	熊本地震災害もあり、早急な建替えを希望	舎の早期完成を目指し、スピード感を持って事業を進めてまいります。	
221	40	大規模災害に備え、早期の完成を望みます。		
222	40	今回、熊本で起った地震のような震度7の地震がきたら倒壊の恐れがあると思われる。南海トラフがいつ起るかわかりませんが、良い機会ですので建て替えを希望します。		
223	40	防災拠点となる新庁舎は早期完成を目指すことに賛成します。		
224	40	防災拠点として新庁舎を！熊本での震災の恐ろしさを目の当たりにし、一刻も早い新庁舎の実現をお願いしたい。各務原台地という強力な岩盤に守られているとはいえ、万全の対策を早期に。		
225	40	市役所には多くの市民の皆様、職員の皆様がおみえになります。その方々の命を守る為にも是非とも安全な新庁舎を建設してください。		
226	40	もし災害などが起きて、市役所まで崩れてしまっは大変なことになってしまい、余計に時間がかかってしまう。		
227	40	目先だけを見て、儉約儉約してはだめ。100年の計を考えて予算執行を。		新庁舎建設事業には多くの費用が必要となります。費用対効果を十分に検討した上で、必要な機能を整備するとともに、他の行政サービスや市の財政運営に大きな影響を与えないよう、事業費の縮減に努めてまいります。
228	40	この際、市税は活きる使い方をしてもらえばいいので、変に節約せず、しっかりとしたものを建設してください。		
229	40	建替に賛成です。 経費を抑える事も大切ですが、必要なものは整っている事が大切です。あとから追加工事が発生することがないように十分検討していただきたい。		
230	40	庁舎建設は、経費をおさえて着工してください。		
231	40	税金の無駄遣いにならないようにしてもらいたいです。		
232	40	近年ワークショップを行うことが多いが、この施設に必要なのか？多機能な施設を目指しているのか？今後決して財政が豊かにならない状況下で余分な機能は一切排除すべき。最低限の目的達成のために検討すべき。		
233	40	耐震性をきっかけとして建設を行うということになれば、市民サービスの向上と市職員執務効率向上を取り込むことは当然のことと思います。多額の税金を使いますから、建設の必要性や導入機	新庁舎建設事業ではこれまで、広報紙、ウェブサイト、新庁舎建設かわら版、イベントにおけるパネル展示など様々な機会を捉えて、検討状況を随時お知らせするとともに、市民ワークショップ、タウンワークショップ、パブリックコメント等の実施を通じ、市民の皆さんのご意見やお考えをお聞きしてまいりました。 今後も引き続き、市民の皆さんへの丁寧な説明、情報発信、意見集約に努めて	

		能の妥当性について丁寧な説明をお願いします。	まいります。
234	40	<p>新庁舎建設の進め方について、疑問を感じています。</p> <p>2月20日に開かれた市議の市政報告会で、前松阪市長の山中光茂さんの講演を聞きました。松阪市では、数十億円かかるといわれていた市庁舎の耐震化について、市長のリーダーシップで数億円で出来ることを明らかにし、既定路線だった新庁舎建設を取りやめ、耐震化を実現したというお話でした。</p> <p>私が驚いたのは、この市政報告会に、200人以上の市民が集まったことです。各務原市の実家に帰ってきて3年になりますが、私が子どものころを含め、この保守的な土地で、市政に疑問を呈する集会にこれだけの人が集まったのは初めてのことでないでしょうか。</p> <p>4月30日にも、山中さんを招いたシンポジウムを計画しているようですが、浅野市長の出席を求める主催者に対し、「都合がわるい」と断られたと聞いています。多くの疑問が投げかけられている中、新庁舎建設を推進するというのなら、堂々と市民の前で、説得力のある言葉で語りかけたらどうでしょうか。</p> <p>地元の鵜沼地区では、鵜沼市民サービスセンターの新築が着々と進んでいます。手続きを踏んだうえでの建設だとは思いますが、この3年、新築計画について住民に広く意見を聞き、市民のための施設を作るという姿勢は見られません。</p> <p>浅野市長は、せっかく若さという武器をお持ちなのですから、もう少し、市民の生の声を聴き、教えを乞う努力をされてはいかがでしょうか。</p>	<p>建築物は、その規模、構造、形状など建物ごとに条件や特性が異なります。本市の本庁舎と他市の庁舎は同じ建物ではありません。その耐震化にあたっては、それぞれ建物の条件や特性に基づき、その自治体の検討手法や判断の上で、整備方針を決定するもので、松阪市の事例はその一例であると考えます。</p> <p>本市の市政運営においては、まちづくりミーティング、あさけんポスト・eポスト、エリア担当職員の配置、各種市民ワークショップの開催など様々な対話のチャンネルを設け、市民の思いをきめ細かくお伺いをし、実現可能で課題解決につながるものは、市政への活用を積極的に図ってまいりました。</p> <p>新庁舎建設事業においても、平成26年度の本庁舎耐震化の検討開始以来今日に至るまで、広報紙、ウェブサイト、新庁舎建設かわら版の自治会回覧、イベントにおけるパネル展示、出前講座など様々な機会をとらえて、市民の皆さんに情報発信しています。また、本庁舎耐震化基本構想（素案）の地区別説明会やパブリックコメント、基本計画検討過程における新庁舎の機能を考える市民ワークショップ、新庁舎タウンワークショップ、基本計画（案）のパブリックコメントなど、様々な市民参加の場を通して、多くの市民の皆さんからご意見や考えをいただいております。</p> <p>なお、市長の日程は、急なものや日を指定したものについては、他の公務との都合上、お受けできないこともございますので、ご理解のほどよろしく願います。</p> <p>今後も広く市民の皆さんの声をお聞きすることが市政運営の基本的な考え方であり、本市が直面している課題解決への近道であることを認識した上で、実現可能で課題解決につながるものは積極的に市の施策に反映をしていきたいと考えております。</p> <p>鵜沼市民サービスセンターにつきましては、公共施設100%耐震化の方針及び市東部地区の市民サービス向上のた</p>

		め、必要な機能・規模について、議会等に丁寧にご説明させていただき、事業を決定したものです。
--	--	---

【新庁舎建設事業の進め方についてのご意見や新庁舎に望むご意見】

No.	頁	意見内容	市の考え方
235	—	市役所から発表されている「各務原市新庁舎建設基本計画」の案で賛成します。	基本理念である「市民の安全・安心な暮らしを支え みんなにやさしい庁舎」を実現できるよう、新庁舎建設事業を推進してまいります。
236	—	新庁舎建設基本計画（案）の内容は、私の考えとほぼ一致します。これからも新庁舎建設を推進してください。	
237	—	市役所から発表されている案で賛成します。	
238	—	基本計画（案）として示されている内容に賛成です。	
239	—	基本的に「建設基本計画（案）H28.3月」に沿って建替えに賛成するものである。	
240	—	全体的によい案と思います。	
241	—	市民サービス面については、他の市の良いサービスを参考にして、質の高いサービスが提供される施設になることを期待します。	新庁舎における市民サービス機能の充実を図るとともに、今後も引き続き、市民の意見を生かした市政運営が行われるよう、丁寧な対応やサービスの提供など、ソフト面の充実に努めてまいります。
242	—	市民サービスが後退する事がない施設になるよう願います。	
243	—	年数もかなり古いものになるので、時代に添ったサービスを提供していただけるように願っています。	
244	—	分かりやすい資料で新庁舎の必要性が良く理解することができました。新庁舎を通じた市民サービス部分の充実については、期待するところです。	
245	—	市役所は用事で行っても駐車場待ち。手続きに時間がかかる。平日に行かないといけない。という理由で出来れば行きたくない場所です。新庁舎建設される時には、もっと利用のしやすい（駐車場の拡大、用事がなくても利用できるスペース、土日の開放、時間外手続きの出来る窓口）場所にしてほしいです。	
246	—	市民サービスに関して、昼勤者に対するサービスが手薄になっている。土曜日午前だけでも開庁できるように。	
247	—	休日対応サービスの充実 証明書の受理・発行等サービスを充実していただきたい。	

248	—	窓口サービス向上	
249	—	プロの考え（使い勝手が悪くなる）ではなく、市民目線で。	
250	—	市民サービスについて、写真では半田市のものを沢山紹介しているが、余り立派なものは不要。	
251	—	<p>新庁舎建設の本来の目的を忘れないように進めていただきたい。</p> <p>現庁舎の会議室が少ない、トイレが不便等の改善は優先順位を下げていいのかと思います。</p> <p>私の考える建て替えの優先順位</p> <p>①耐震対策</p> <p>②防災拠点：放射性物質対応品の備蓄、ヘリポート設置で怪我、病人緊急搬送・自衛隊との物資緊急輸送、ドローン基地（監視ドローン・輸送ドローン）、県庁の補完機能</p> <p>③地球環境負荷低減策を盛り込んだ建物（地中熱利用等）</p> <p>④市民サービス向上機能</p> <p>⑤市長・議員・行政職員の職場環境改善</p> <p>⑥50年後、100年後を見据えた設計、メンテナンス性、規模・機能</p> <p>建物のデザインは、美しくなくてよい。はっきり言って、どうでもよい。安価に建築が重要。</p>	<p>新庁舎は、機能的で、市の中心的な公共施設にふさわしく、市民に長く愛される庁舎となるよう計画してまいります。</p>
252	—	<p>新庁舎は、耐震強靱な建物であること、市民サービスの利便性や効率化が大原則であるが、「ふるさと各務原」に対する市民の郷土愛を醸成する役割の一端を効果的に発揮してほしい。</p>	
253	—	<p>全体的な話になりますが、今の市役所は暗いイメージがありますので、もう少し照明が明るいといいと思います。</p> <p>また併せて、内装ももう少し明るい感じにした方が市役所に来たときに、威圧感みたいなものを感じずに入ることができるし、市役所のイメージも明るくなるのではないのでしょうか。</p>	
254	—	<p>時代と共に建物の構造も変わってきており、新庁舎は、元気のある各務原市の顔になってほしい。</p>	
255	—	<p>庁舎本体工事費が63億円で実施されますが、工費の内訳で耐震構造費に使われる費用は全体の何パーセントですか。崩壊の危険がない様検討されていると思いますが、美観も考慮ください。</p>	

256	—	華美な装飾は不要と思いますが、せっかく新しく建てるのですから、市民が誇れる建物を造っていただきたい。
257	—	全国に“じまん”できるような庁舎としてほしい。(航空機の街として)
258	—	庁舎としての機能面はもちろんですが、市の象徴的なデザインの建物にしてほしい。オフィスビルの様ではつまらないし、市在住者以外の方に誇れない。(文化的発想も必要)
259	—	市役所庁舎は、現在の各務原市にとってシンボリックな存在であると思います。(代表する駅舎が無い) 日本的な「和」を感じられる建物が良い。
260	—	市民が他の市民に誇れる物
261	—	様々な導入機能を検討されているようですが、他の市役所との差別化を図り、完成時にはそれを大きくPRしてもらいたい。
262	—	いかに安く、使い勝手の良い庁舎ができるか！知恵の絞り所です。短い期間の不都合はOKですので、良い建物を安く作ってください。
263	—	防災面・環境面のニーズを十分に配慮された素晴らしい市庁舎が生まれることに市民の一人として大いなる期待の気持ちを抱いています。
264	—	これから数十年以上も使用できる市民の大切な庁舎であり、中途半端なものではなく、しっかりとしたものを作っていただきたい。
265	—	基本計画では防災拠点としての機能を一番に掲げてあり、その方向に賛成です。 現在色々な報道がありますが、災害時に行政が機能しなくなるのは大変不安です。 防災や市民サービスの拠点、市のシンボルなど色々な機能と費用面とのバランスのとれた建て替えをお願いします。
266	—	利用しやすい明るい市役所庁舎を楽しみにしております。(高齢者にやさしい市役所であって欲しいです)
267	—	誰もが利用しやすく、明るい庁舎にしていきたい。
268	—	市民に親しまれ、利用し易い庁舎になるようお願いします。

269	—	内部は間伐材をふんだんに使用して、木のぬくもりが感じられる（やわらかい、やさしい）スペースにしてほしい。	
270	—	敷地内にある桜は残してほしい。	
271	—	他市の機能を参考にする必要は大いにあるが、本当に必要かどうかを考慮してほしい。	
272	—	これは誰のための施設か？市長？議員？学者？設計者？でなく、市民のためのはず。これからの市民（子供）に負担をかけないためにも最低限の機能だけで十分。他都市のように一見華やかな施設は多額の税金を費やしている。その上、災害に対して不利な構造であることが多い。実務的庁舎を建設すべき。	
273	—	主要建物は円形ビルとする。	
274	—	名鉄各務原線「各務原市役所前駅」及びJR東海高山線「那加駅」を市役所建物内に入れる。「那加駅」の移設に関してはJR東海と交渉して合意を得た後。	新庁舎内への両駅の移転は考えておりません。

【市政に関するご意見】

No.	頁	意見内容	市の考え方
275	—	新庁舎の建設とともに庁舎にふさわしい（調和）街づくりをしてほしい。（住みやすく、安心な、きれいな）	頂いたご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきます。
276	—	新庁舎建設計画には関係ありませんが、狂犬病予防注射済の手続きを支所でも出来るようにしてほしいです。	
277	—	パソコンによる会議の導入。全職員に個別パソコンの貸与。	
278	—	本件と併せて、今回熊本市を中心とした地震災害の教訓として、隣接する他市町村との「臨時行政指揮所（用地確保地）協定を平時に設定する必要があると思われる。	
279	—	質の高い市民サービスとは何か？年に1回訪問するかしないかの市役所に多額の費用をかけて建替するのは疑問。大地震が発生した時の機能として市役所の役割は大切だが、必要最小限の耐震化で問題ないと思う。 人口減に伴い、職員の削減は当然の現象。実際市役所に訪問すると何をしている人か不明な職員が見受けられる。又、何もしていない職員も散見できた。今、各務原市行政として何が一番の優先課題順位かを話し合うべき。世界経済減	本庁舎は、住民票などの証明発行から各種の相談、要望まで多くの市民が利用するとともに、市民サービスの基礎となる様々な行政情報を取り扱う市民サービスの拠点であり、災害時には災害対策本部が設置され災害対応にあたる重要な防災拠点です。そのため、本庁舎の耐震化は喫緊の重要課題として、新庁舎の建設に取り組んでいるところです。耐震化にあたっては、大地震後でも、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に

	<p>退、日本経済景気後退の中、少しでも税金の使い方を議論すべき。庁舎の話より大切なことはないのか！おかしい！</p>	<p>加えて十分な機能確保が図られる最高水準の耐震性能が必要となります。</p> <p>また、本市では、行政に対する市民ニーズの多様化や地方分権による国・県からの権限委譲による業務量増加への対応に努めるとともに、事務事業の再編・整理、組織の見直しや民間への委託等の推進など行財政改革を確実に遂行した結果、人口1万人あたりの職員数は、類似団体との比較においては平均値よりかなり下回っている状況にあり、また、県内都市との比較においても平均値を下回っており、少ない職員数で、効率的な行政運営が行われている状況にあります。</p>
--	---	---